

LM E銅相場のトレンドはブルベア混合

為替も円高安拮抗―第90回COMC声明

第90回十二月のCOMC声明

- ① 電気銅建値予測 六七〇～七二〇円
- ② 銅相場のトレンド ブルベア
- ③ LME銅セツル予測 五、七〇〇～六、一〇〇ドル
- ④ 為替トレンド予測 円高安
- ⑤ ドル円予測 (TTM) 一〇八～一一二円
- ⑥ スクラップ景況感

売れず、値段付けれず、モノあっても買えざるの閑散状態。年末要因で引き合いが多少増えそうだが、売りは年末要因で引き締まり在庫の増加懸念もある。

【概況】

今回のCOMCにおいても やはり米中貿易競争の行方の意見が出た。

貿易戦争は今後も続くが、直近は中国に米がかなり譲歩して第一段階の合意に至り、期限延長、引き続き協議の可能性が高い。
一旦は決裂が遠のくとの判断もあり。これらを踏まえ、当委員会としては、ブルベア「強気弱気」の混合 との予想。

【議長】

橋本健一郎 (橋本アルミ)

【委員】

荒井義明 (荒井明商店)

角井聡一郎 (角井地銅商店)

勅使河原 孝行 (テシ商店)

棚町祐次 (IRユニバース)

産業ドロー「モノづくり」日本会議共同議長賞

愛知製鋼が澤藤電機と共同開発

愛知製鋼は、澤藤電機と共同開発した産業ドローン用モータが、日刊工業新聞社/モノづくり日本会議主催の二〇一九年「超」モノづくり部品大賞の「モノづくり」日本会議 共同議長賞を受賞したと発表した。

ドローンは、物流・農業分野などで深刻化する労働力不足への対策として期待されている一方、積載量アップや飛行時間の長時間化などを表現するための軽量化が喫緊の課題となっているが、今回受賞したドローン用モータは、愛知製鋼が開発した重希土類DY (ジスプロシウム) 不使用の世界最強のボンド磁石「マグファイン」® (※1) による一体射出成形技術 (※2) と、澤藤電機が発電機や電装品の製造で培ったアルミニウムを用いた高度な巻線技術を融合させ、従来比三割の軽

量化に成功し、飛行時間の延長に寄与するだけでなく、安定した絶縁性能で長寿命を実現した。

なお、「超」モノづくり部品大賞は、日本のモノづくりの競争力向上を支援するため、二〇三三年に「モノづくり部品大賞」として創設され、日本のモノづくりの強さを支える、縁の下の力持ちの部品・部材のうち、特に重要な役割を果たしているものに贈られており、今年で一六回目を迎える。

※1「マグファイン」®：重希土類であるDY (ジスプロシウム) 不使用のNd (ネオジム) 系異方性磁石粉末に種々のプラスチックを混ぜて成形した磁石。各種電動工具や自動車用シートモータなどに採用

※2 一体射出成形技術：二〇二五年に確立した、樹脂を加熱し金型に充填して成形する革新的工法

鋼材 普通鋼

十月の出荷、前年同月比一四・一%減

国内、輸出とも振るわず―日本鉄連

日本鉄鋼連盟が十一月二十九日に発表した二〇一九年十月の普通鋼鋼材需給 (速報) によると、生産は五六二万八千トンと、前月比で三・九%増加した。もともと、前年同月比では五・〇%減少し、三カ月連続で前年同月の実績を下回った。出荷は五六一万七千トンと前月比三・六%減少した。前年同月比でも一四・一%減少し、二カ月ぶりに前年同月の実績を下回った。

在庫は六八〇万二千トンで前月比〇・〇%増、前年同月比で〇・六%増加。
在庫のうち、メーカー在庫は五三八万七千トンで前月比二・〇%増、前年同月比で〇・七%増。問屋在庫は一四一万五千トンで前月比六・九%減、前年同月比で〇・一%の微増。
在庫を国内、輸出船待で見ると、国内は五八一万八千トンで前月比二・一%減、前年同月比で〇・八%減だったが、輸出船待は九八万四千トンで前月比二五・〇%増、前年同月比では九・八%増。
在庫率は一一・一%で前月比四・四ポイント上昇。このうち国内在庫は一五三・〇%で同比四・七ポイント低下。船待在庫は五四・二%。

出荷を国内、輸出向けで見ると、国内向けは三八〇万三千トンで前月比〇・九%増加した。輸出向けは一八一万四千トンで前月比一・八%減。前年同月比では国内向けが一四・四%減少し、輸出向けが一三・五%減と、いずれも一カ月ぶりのマイナス。